

## 令和8年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答弁者
6	17	渡 辺 佳 正 議員		1 / 1
発 言 項 目		要 旨		答 弁 者
1	ホルムズショックから中小事業者と市民の暮らしをどう守るか	<p>(1) 市が今年5月にナフサ不足などの影響について、市内事業者との間で行った意見交換会では、建設、塗装、農業、医療・介護及び食品などの事業者や団体からどのような意見・要望が出されたのか。</p> <p>(2) 政府は、「資材不足の問題については個別に相談に対応して目詰まりを解消している」と言っているが、個別相談で資材不足が解消されている市内事業者の事例を市は確認しているか。</p> <p>(3) 資材不足・資材高騰などによる工事の延期・中止や経営困難に陥っている事業者について。</p> <p>① 実態を把握しているか。</p> <p>② 市として相談体制を整備しているか。</p> <p>③ 国・県・市が実施している事業継続支援制度などを活用できている件数を把握しているか。</p> <p>④ 支援制度を活用できない事業者の状況を把握しているか。</p> <p>(4) ホルムズショックによる事業継続困難事業者に対して、市の独自支援策を実施すべきと考えるが、いかがか。</p> <p>(5) 事業者と市民の不安を解消するために、今後のガソリン・電気・ガス・資材・食料品などの価格見通し及び石油・ナフサなどの調達見通しについて、具体的・長期的な展望を示すよう国に働きかけるべきと考えるが、いかがか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
2	公園や学校などの樹木管理を計画的に実施することについて	<p>(1) 外神東公園や城山公園、富士山本宮浅間大社などで大量の樹木を伐採し、大切な緑が失われ、市民がその木陰で休んだり、季節の移ろいを感じる機会が大きく減少している。大木になる木は頭を止める、定期的に枝を落とすなど、造園業者が定期的な管理を実施することで緑あふれる公園を常に保つことができる。</p> <p>① 過去数年の樹木伐採については、造園業者などに相談してできるだけ樹木を残すよう配慮したのか。</p> <p>② 学校の樹木は造園事業者やPTAなどの協力を得て伐採・枝落としなどを実施しているが、学校の樹木管理について教育費の予算は十分でないと考えているが、いかがか。</p> <p>(2) 公園の定期的な樹木管理を一括して指定管理者などに委託したらどうか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長